

昭和49年4月30日

自由民主党
之報委員会文化局長
山下元利殿

美術評論家連盟会長
山田智三郎

「要望書の提出について」

謹啓 時下ますます御清祥のことと拝察申し上げます。
さて、貴党之報委員会文化局より御連絡により、芸術文化団体
の一つである当連盟として貴党に要望したき事項を示すように
このことといたしました。下記のように案件をとりまとめました。
何卒事情御賢察の上、政策に反映して下さるようお願い申し上げます。

記

1. 国立西洋美術館の増築と推進してほしいこと。

東京都上野公園内にある国立西洋美術館が、松方コレクションの返還
に際して新築されたことにより、同館の所蔵品による
平常展示に訪れる観覧者数は国立博物館・美術館中でも多い。
一方所蔵品も増加しているにもかかわらず、建物も狭小のため、特別
展に際して同館の平常展示を全部撤去せざるを得ない実情があり、
一刻も早く増築に着手し、特別展・平常展の同時併催が可能
になるよう、御配慮願いたい。

2. 学芸員の質的向上を計るため、学芸員の再教育機関をつく
ってほしい。

博物館・美術館の社会教育機能にかんがみ、すでに文部省では
博物館法による学芸員の認定規準(実習を含む)を定めているが、

實際はその知識技能をもって、直ちに取務に任ずべきことは難しい実情である。また有資格者といふことも就任できないものが多い。そこで学芸員の認定規準から問題の多い実習の義務をはずし、實際に就任した者に対して何らかの再教育を行なうように措置した方が現実的かつ有効であると思ふ。

また上記した学芸員の待遇の改善についても、十分に指導を各施設にほどこして頂きたい。

3. 美術研究のために、公開の資料センターを設立してほしい。

美術の国際交流が活発化し、各種の情報が流布されて今日、それら内外の美術図書、展覧会カタログその他一切の資料を集めて整理し、一般の観覧に供する為の公開の美術資料センター(設立)が必要に痛感される。

これは、例之は既存の東京国立文化財研究所美術部などの業務の一部を改訂し、必要の人員と予算を整へれば、直ちに具体化できようと考えられるので、早急な検討を要望したい。

4. 文化団体に対する援助を強化してほしい。

当連盟は日本ユネスコ協会連盟に対して、国庫補助金の配分を申請しようとする文化団体の一々に登録してもらいたい。これを申請する際の事務が余りに煩瑣でありすぎるため、出願できないことが多い。そこで文化団体に対するユネスコの援助を強化と同時に、その申請の事務を簡略化するよう考へて頂きたい。

以上。